



最上祭り

町の活気と温かさを感じる2日間

夏の風物詩、そして夏のクライマックス

9月6日から7日にかけて、「第52回最上祭り」が開催されました。最上祭りは、町の伝統文化として次世代へと受け継がれてきた、歴史ある町の行事です。

祭りは向町地区を舞台に、子どもたちの元気な掛け声とともに神輿の練り歩きから始まり、その後、ステージショー等をはさみ、夜には恒例の花火大会が行われ、色とりどりの花火が町の夜空を鮮やかに彩りました。夏の終わりを告げるような花火の音と光は、訪れた人々の心に深く刻まれる、感動的なひとときとなりました。

2日目は、もがみ元氣ステーションにて幼児から中学生までの子どもたちによる多彩なパフォーマンスが披露され、観客を魅了しました。さらに、コーラス隊「絆」の合唱や、最上町音頭保存会による舞踊など、地域の伝統芸能も披露され、町の文化に触れる貴重な機会となりました。

祭りは地元の方々にとって地域の絆を深める大切な場であり、町内外から訪れた方々にとっても、最上町の魅力を体感できる充実した2日間となりました。

